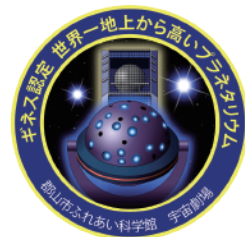


2014年

7月▶8月の星空



この図は

7/ 1 ▶ 22時(夜10時)

7/15 ▶ 21時(夜 9時)

8/ 1 ▶ 20時(夜 8時)

8/15 ▶ 19時(夜 7時)

頃の星空です。

(惑星の位置は8月1日)

○1等星

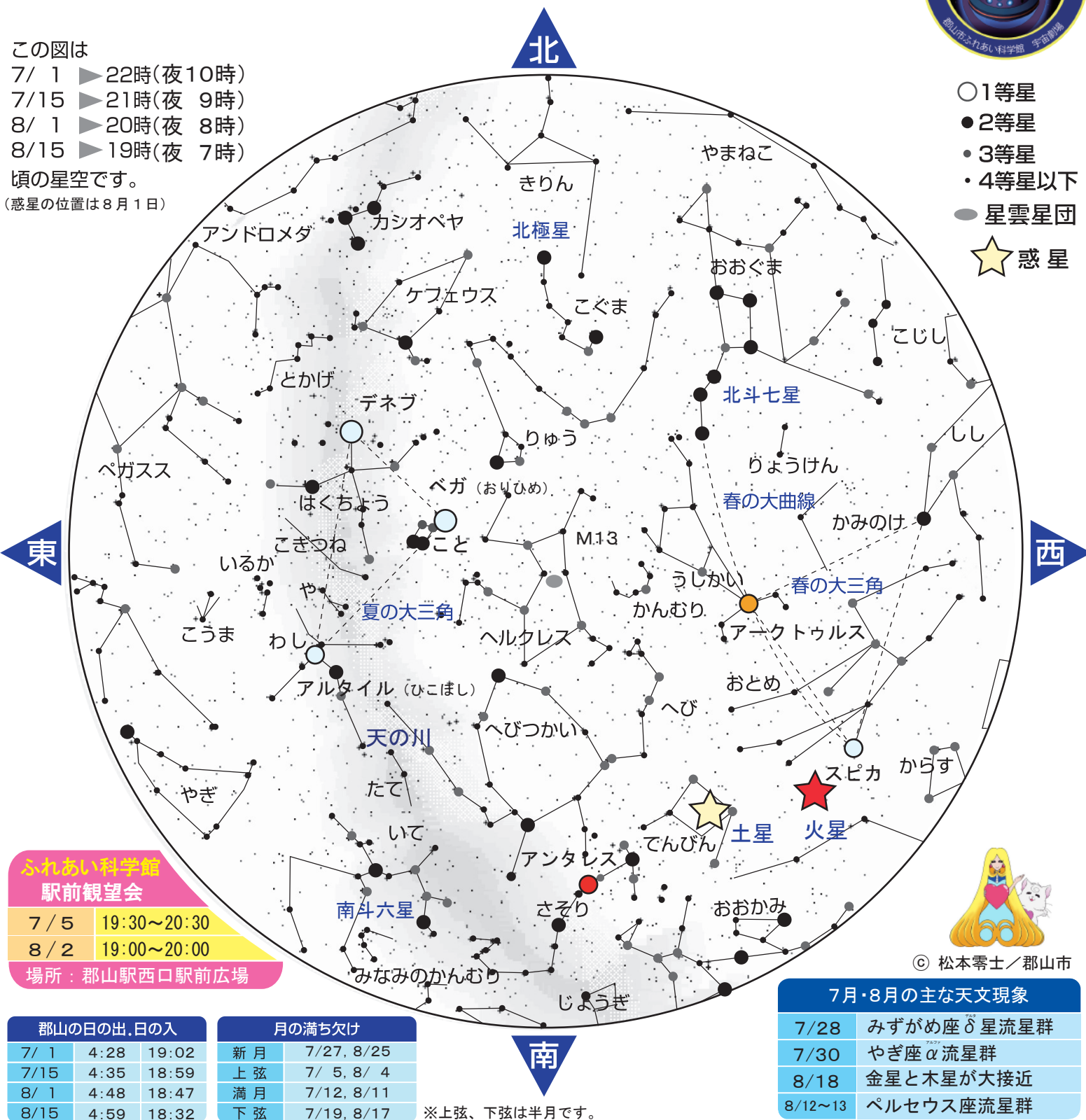
●2等星

●3等星

●4等星以下

●星雲星団

★惑星

ふれあい科学館
駅前観望会

7/ 5 19:30~20:30

8/ 2 19:00~20:00

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士／郡山市

7月・8月の主な天文現象

7/28 みずがめ座δ流星群

7/30 やぎ座α流星群

8/18 金星と木星が大接近

8/12~13 ペルセウス座流星群

郡山の日の出、日の入

7/ 1	4:28	19:02
7/15	4:35	18:59
8/ 1	4:48	18:47
8/15	4:59	18:32

月の満ち欠け

新月	7/27, 8/25
上弦	7/ 5, 8/ 4
満月	7/12, 8/11
下弦	7/19, 8/17

※上弦、下弦は半月です。

夜になっても日中の暑さが残るこの時季は夏の星たちが見ごろを迎えます。春の主役としておとめ座で明るく輝いていた火星がてんびん座にある土星の方向に動いていきます。7月6日には月・火星・おとめ座のスピカの3つが一ヶ所に集まって魅力的です。さらに、南の空の低いところに輝くさそり座の「アンタレス」を含めると、南西の空に明るい星たちが一列に並んで目を引きまします。東の空を見上げると「夏の大三角」が見つかります。一番高いところにあるのが七タの「おりひめ星」、そこから目線を下したところにあるのが「ひこ星」です。この二人が1年に一度出会うことができると言われている七タは考え方により3回あります。1回目は通常の7月7日に行います。2回目は旧暦の7月7日に行う「伝統的七タ」と言われるものです。昔はこの時季に七タを行っていました。今年は8月2日がこの旧暦の七タとなります。3回目は「月遅れの七タ」と言い、8月7日に行うものです。2人が出会うロマンチックな夜に願い事とともに空を見上げてみましょう。

また、毎年たくさんの流れ星を見せてくれるペルセウス座流星群が8月13日の朝にピークをむかえます。今年は満月過ぎの明るい月があるため星を見るための条件は良くありませんが、明るい流星が見えることもあるのでじっくり空を眺めてみましょう。夏休みやお盆休みとお出かけしやすいこの時季に空のきれいなところに出かけたらゆっくり星空を眺めてみましょう。

